

# 令和6年度予算 一般会計予算 243億6000万円

## 【鶴ヶ島駅周辺まちづくり】 地域交流施設整備事業

南市民センターを鶴ヶ島文化会館の敷地に移転し、施設を複合化することで、新たに「地域交流施設」の整備を進める。

**Q** 新しい施設の市民センターとしての機能は。

**A** 令和6年度に策定予定の施設整備基本計画の中で位置づける予定である。

**Q** 駐車場が狭くなるのでは。

**A** 鶴ヶ島文化会館の敷地面積は、南市民センターよりも狭いが、隣接の水路や道を挟んだ土地の駐車場利用も検討している。今後ワークショップなどで市民の意見を伺い、整備していきたい。



鶴ヶ島文化会館



未来ある子どもたちのために

## 病児保育事業

子どもが病気で、自宅での保育が困難な場合に、一時的に保育し、安心して子育てできる環境を整備する。

**Q** なぜ無償化に踏み切ったのか。

**A** 保育所などに在籍する児童が対象であり、3歳以下の保育料を負担している世帯の利用が多い。

保育料と病児保育利用料の二重の負担軽減のため、今回無償化に踏み切った。

**Q** 無断キャンセルなどの問題は。

**A** 電話のみの予約から、インターネット上での予約が可能となり、無断キャンセルは減っている。

## こども医療費助成事業

保護者の経済的負担軽減のため、子どもの保護者に対し、支給している医療費助成金の支給対象を18歳まで拡充する。

**Q** 近隣他市の状況は。

**A** 川越市は6年4月から、本市は坂戸鶴ヶ島医師会に加盟している病院の周知など、準備の関係で、坂戸市とともに6年の10月から開始する。

**Q** 支援を拡大した理由は。

**A** 子どもを取り巻く環境の積極的なフォローと考えている。

また、県が通院及び入院の補助を拡大したことも後押しとなった。

## 高齢者実態把握事業

介護認定を受けていない75歳以上の高齢者を対象にしたアンケートの結果に基づき、要介護に陥るリスクの高い高齢者やアンケート未回答者の自宅を訪問し、必要な相談・支援などにつなげ、健康の保持増進などを図る。

**Q** 今までは実態調査を行っていなかったのか。

**A** 平成27年度までは、同様の調査を実施していた。コロナ禍の高齢者の生活実態が把握しづらかったこともあり、令和3年度にアンケートを再開するとともに、訪問事業と併せて行った。

**Q** 今後の見込みは。

**A** 令和3年度の結果から、元気な方が6割程と考えている。リスクが高い方の場合は、介護認定や介護予防事業を紹介するなど、必要な支援につなげていく。



いつまでも健康でいられるまちへ